



## 読書～読み聞かせと黙読～ この素晴らしい世界

「ひとりでに本を愛することを覚える子供などというのはまずいない。誰かが文字で書かれた言葉の素晴らしい世界へ彼らを誘い込んでやらなくてはならない。誰かがその世界へ行く道を教えてやらなくてはならない」(オリバー・プレスコット)

子どもたちは、読書の時間になると、本の世界に誘い込まれ一生懸命に読んだり聞いたりしています。

本校では、毎朝8時5分から10分間、「朝の読書」の時間を設けています。

【令和4年5月発行】

10分間という黙読の時間、校舎全体が静まり返っています。1年生から6年生まで、学年に応じた指導のもと「読むこと」の力をつけています。

「黙読の時間」プログラムの実行にあたっては、

- (1) 子どもの熟達に応じて調整しながら一定の時間だけ読ませること
- (2) 読むための素材は、子ども自身に選ばせること。その時間内に読む本はすべて事前に選んでおくこと
- (3) 教師も読むことで手本を示すこと
- (4) 感想文や記録のたぐいは求めない

という手順をとっています。

読書習慣をつけることにより、集中力が高まり、自己規律を身につけることができます。

また、読むということは、本の作家とコミュニケーションすることであり、作家の考え方にふれ、内面を豊かにすることでもあります。

子ども達の心を豊かに育むためにも、全校黙読の時間に継続して取り組んでいきます。



【6年生の朝の読書】



4月16日

## 授業参観、学級懇談会 ありがとうございました



本校での教育活動、授業等での指導の様子、お子様の授業参加の様子などを見ていただきました。

各学級とも、子どもたちの生き生きとした表情が見えました。

1年生は入学して初めての授業参観です。明るい笑顔が輝いていました。温かく見守ってくださいありがとうございました。

学校と家庭、地域が互いに理解し合い、それぞれがその役割を果たしながら、子どもたちを健やかに育てていきたいと考えています。

保護者の皆様のご意見もこれからの教育活動の参考にさせていただき、職員一同頑張っていきます。

今後共、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

